「有機の里うすき」推進プロジェクト

関連するSDGs

「有機の里うすき」推進プロジェクトとは

臼杵市では、子どもも大人も安心安全でおいしい農産物を食べてもらいたいという想いから、まずは「土づくり」が大切と考え、2010年に核となる施設として「臼杵市土づくりセンター」を開設し、完熟堆肥である「うすき夢堆肥」の製造を開始しました。この土づくりセンターでは「土づくり」に重点を置いた有機農業に取り組みやすい環境を整備するため、「うすき夢堆肥」の安定した製造・供給を目指しています。また、生産者と消費者がともに「食」に関する重要性の理解を深めるとともに、臼杵市長が認証する「ほんまもん農産物※[1]」や「有機JAS認証による農産物」を気軽に手に入れることができる環境を目指すものです。

「有機の里うすき」概要

【有機農業の担い手育成・確保】
- 有機農業の担い手育成（営農指導）
- 「土づくりセンター」施設・設備の環境整備

土づくり

ほんまもん農産物

【「ほんまもん農産物」の理解促進】
- 集出荷体制の構築
- 食育の推進

【学校給食の「ほんまもん農産物」使用率の向上】
- 保冷室・冷凍庫などの施設整備
- ほんまもん農産物購入費補助（保護者の負担軽減）

学校給食

ＫＰＩ

学校給食での「ほんまもん農産物」使用量：50%　※令和6年1月末現在：24.38%（約12.5t）

※[1]ほんまもん農産物とは、完熟堆肥の「うすき夢堆肥」で土づくりを行った圃場で、栽培期間中に化学肥料や化学合成農薬を使わずに栽培した農産物を、臼杵市が生産工程記録を審査し、臼杵市長が認証した農産物です。

【お問合せ先】
臼杵市　秘書・総合政策課
TEL:0972-63-1111
MAIL:furusato@city.usuki.oita.jp